

第1回ジオパーク下仁田協議会ガイド部会 報告

日時 令和2年8月27日(木) 午後7時00分～

場所 下仁田町自然史館

所 属	氏名	出・欠	所 属	氏名	出・欠
下仁田ジオパークの会	加庭 紀夫	出	下仁田ジオパークの会・荒船風穴解説員	堀口 和利	出
下仁田ジオパークの会鉄山研究会	大河原 順次郎	出	下仁田町観光協会	津金澤 英美	出
下仁田ジオパークの会	森川 恵美子	出		林 通典	出
下仁田ジオパークの会	神戸 百合子	出	下仁田自然学校	中村 由克	出
下仁田ジオパークの会	高橋 敏博	欠	下仁田町自然史館	赤岡 明	出
下仁田ジオパークの会	高橋 真理子	出	下仁田町自然史館	関谷 友彦	出
下仁田ジオパークの会	黒澤 雅史	出			出

1 開 会

2 協議事項

1) ガイド部会の設置・今後の活動について

それぞれの所属する団体から、現在のガイド活動の問題点、今後のガイド活動について検討課題などを抽出しました。

- 道の駅で案内をしていると、「ジオパークって何だろう」「どんな面白いものがあるんだろう」と、期待して問い合わせてくる方は多い。そういう人に自然史館を紹介するが、もう少し、道の駅だけで体験できるもの及び、もっと詳しく案内ができる人がその場にいと、多くの人たちに「ジオパークを知ってもらえることができるのでは。」と日々感じる。
- 道の駅や駅は想像以上にいろんな人が資料を求めるので、高崎駅や高速道のPAなどにも宣伝させてもらえるようお願いして見てはどうか。
- 秋田県の湯沢ジオパークに行ったときに、駅や道の駅に案内人の人がいて、希望者には窓口で丁寧に説明をしてくれた。その人たちはガイド講習を受けた人が協議会でいくらかお金をもらって解説している。お金のシステムはすぐには難しいが、こういう形を作っていくことで、ガイドの活躍の場も広がり広がっていいのではないか。
- ふだんガイドをしても、なかなかジオツアーの需要がなくて、残念に思っていたが、道の駅ではそんな需要がある事が聞けて嬉しい。
- 現在、イベントやガイドツアー（青岩公園の川原の石体験、町歩き）を実施していることは知っているが、小さなツアー（ウォーキング de ジオ）や現在企画しているツアーコースについて観光協会とジオパークの会での情報が共有されていない事がある。
- 昨年までガイド研修が行われていたが、今年も行われておらず、スキルアップをする手段がない。また新しく興味を持ってくれた人を誘う場所がない。

- スキルアップについては、各団体（自然学校や公民館）で開催される行事をガイドの人たちに提供する。
- ガイド研修は、来年度にあるジオパーク再審査で魅せるコースも踏まえて検討しないと間に合わないのではないかと。

※様々な意見が出て、下記の3つを当面のガイド部会の目標とすることにしました。

＊ガイドツアー（イベント）のPR方法

＊一定層需要のある道の駅を訪れる人へのジオパークPR方法

＊ガイドのスキルアップ方法

2) 新しいガイドをどう増やしていくか

- ワンポイントでもガイドできる人を増やすのが近道ではないか。
- ガイド研修として募集をかけても参加のハードルが高い。
- 行事に参加してくれた人が、もっと勉強してみたいときに問い合わせ・連絡先が分かるチラシがあるといい。
- ガイド研修で興味を持った人が、自然史館・自然学校の講師がマンツーマンで優しく分りやすく個人研修をする。
- いきなりガイドを増やそうとするのではなく、興味を持つ人を増やす。「地元を紹介できるように地域を学習してみませんか」というような事で人を集めるのがよいのではないかと。
- 馬山地区の農家さんはネギやコンニャクについてはよく知っているそれに少しでも段丘や遺跡について話せる程度で十分案内ができるのではないかと。

※様々な意見が出ましたが、焦らず、できることを進め、一年間に一人でも継続的に興味を持ってくれる人が増えるぐらいの気持ちで長期的に増やしていくようにするということでまとめました。

3) 令和3年ジオパーク再審査までの協議会のスケジュール

＊別紙のスケジュールについて、確認をし、令和2年12月～1月開催予定のJGN意見交換については検討し、下記の意見が出された。

- 協議会内の意識強化というところで、協議会内で一番温度差が激しいのは、産業・商店関係者である。そういう人たちが参考になるような、各地域で産業・商店の取り組みでうまくいっている地域の協議会会事務局に話をしてもらった方がいいのではないかと。
- ジオブランドの活用についてうまくやっているとすればそう言うところの成功事例が聞きたい。
- 商店の人だけだと、ジオパークの活動の確認としては弱いので、JGN事務局からも1名呼んでどうか。
→次回の会議までに情報を収集し、候補を絞る。

3 次回の部会開催について

上記の意見を引き続き検討するためにも、10月下旬～11月上旬に開催する。